

## 令和 6 年度 地域ケア個別会議 実施概要

No	包括	性別	年齢	要介護認定	世帯	課題
☆ 1	やなか	女性	87歳	要支援1 ※会議時は申請中	独居	独居で認知症の疑いがあり、日時の感覚が分からないことや道に迷ってしまうこともある。近隣から本人を心配する声が複数あるが、何も支援を受けていない。
☆ 2	くらまえ	女性	83歳	要介護5	同居 [ 娘 ]	在宅介護が継続されているが、本人の医療処置が増え、家族の介護負担が大きい。さらに、医療処置を受けてもらえるサービスの選択肢が少ない。
☆ 3		男性	77歳	要介護1 ※会議時は申請中	同居 [ 妻、長男、次男 ]	本人は複数の不動産を所有しているが、収支状況を把握できておらず、入院を機にADLが低下。本人と同居しているのは精神科に通院する妻、障害のある長男、引きこもり気味の次男であり、世帯全体への支援が見込まれる。
☆ 4	みのわ	女性	87歳	要介護1 ※会議時は申請中	独居	認知症の診断があり、過去に通帳や印鑑を紛失したことがある。協力してくれる親戚もいないため、今後介護サービス等の契約や金銭管理ができず、本人に不利益が生じる可能性が高い。
☆ 5		男性	86歳	要介護2 ※会議時は申請中	同居 [ 妻 ]	本人は透析に通うためにヘルパーを利用中。今後、本人と妻とともに病院と金銭トラブルを起こしたり、妻は本人のサービスを拒否する可能性が高い。本人のサービスが中止すると必要な医療が受けられなくなる恐れもある。
☆ 6	まつがや	男性	77歳	要介護4	同居 [ 妻 ]	外国籍の妻と同居。本人は身体・認知機能の低下があり、特に物忘れや異食などの症状が顕著にみられている。本人はサービス利用に対して拒否があり、通所サービスの利用には至っていない。
☆ 7		女性	78歳	未認定	同居 [ 双子の妹 ]	地域包括支援センター等による見守りを続けているが、本人は「困っていない」と話す。実際はごみが玄関や階段に積まれ、日常生活に支障が出ている可能性が高い。
☆ 8	たいとう	女性	80歳	要介護2 ※会議時は申請中	同居 [ 夫 ]	本人から夫の妹に「食べるものがない」との連絡が入り、夫の妹が訪問すると自宅内はゴミが散乱。本人は認知症が疑われる状態であり、夫は視力低下が進んでいた。近所付き合いはなく、この1年どのように暮らしていたか本人、夫ともに覚えていない。
☆ 9	ほうらい	女性	81歳	未認定	同居 [ 夫 ]	本人は夫の介護に尽力しているが、他者を信頼できず、事実とは異なる思い込みをしている。精神科は未受診であり、夫のケアマネジャーがモニタリングのために訪問しても本人が一方的に話をし、夫には会えないが続いている。
☆ 10		女性	84歳	要介護2	同居 [ 息子・娘 ]	娘に対して被害妄想がある。お金に執着があり100万円～300万円の現金を持ち歩き色々なところにお金を見せてしまう。介護保険のサービスも拒否している。

☆前回（令和6年度第2回）以降に報告するケース

それ以外のケースは3か月後のモニタリング結果やその後の状況を追記